



発行所 西蒲原郡 卷町 保 西蒲原郡 公民館 印刷所 北洋印刷株式会社 (西蒲原郡 卷町 電話204番)

民主化への努力

卷中学校長 片桐 薫

山村地帯には一家の主婦を呼ぶのに、「おつかさま、おつか、おつか、ちやちや」というように幾種類かがある。封建的な姿がよく現れている。この種類を改善しなければならぬといふので新しいおつかあちやん、かあちやんとするか、漸定的に「ちやちや」を廢止しようか等もみ合つた話を書いた事がある。

古來封建維持の學問として孔子の儒教があつた。その教えの一つに「不言実行」を尊び、これを實踐するといふことがある。文句をいわずに實踐する不平等も不満もよろこびもいわずに命ぜられたことは忠実に実行する。これは國體統制の一つの方法である。併し民主社会の社会人は「有言実行」の士でなければならぬといふ。これからの社会は思ふことを話合つて、不幸と幸福とを充分討議し合つて、お互に幸福な境地の開拓に努力しなければならぬ。そして

て、まとまつたことはこれを守り実行する社会人でなければならぬ。最近の中学校生徒は、家庭では「有言実行」で、学校では「不言実行」で等と忠告の攻撃を下さる方がある。今學校では生徒の社会活動の場を學校生活に於て与え、

協力の仕方、これもなかなかむずかしい。或る村會議員が「政治は野黨と與黨とあつてお互にしのぎをけずるところに進歩がある。我々は村政にこの様相を取り入れねばならぬ

とがんばつていた。問題は、しのぎをけずつて決議した後の態度である。先般の読売新聞の社説に、破防法について、議院を通過成立してしまつた以上如何なる悪法といへどもこれを否認するわけにはゆかない。國民も守らねばならぬ意味のことをかいておる。議會を通過した法律には野黨も野黨も共に服しておるが、併し小地域の村等では議決後に更にその事項に對し協力をせざるのきを大いにけづり、永く争ひ續ける姿をみる。きめられたことは守りぬき、共に協力して社会を幸福にしていく協力が重要である。日本人程人の長所をほめ、長所をまね、もり立てて協力することに欠けて

いる社会人はないと思ふ。これも教養程度がものをいうわけである。我が、我々は不斷の修養によつてこれが助長に努力せねばならぬ。更に我々は協力の内面活動のあり方に注意せねばならぬ。社会学には社会統制の二つの方法として、權力による統制と友愛による統制とがあげられてある。広く友愛の精神活動に基く協力の仕方である

る。社会学者は「友愛の眞価はそれが人間の最深の本質に根差す自己形成を相互に促進し、あり親和協力である」といふ。又「友愛の働きの中で最も深い創造的な働きをなすのは信頼である」といつてゐる。人間性尊重の社会形成の協力の中心は友愛の心の活動である。お互が心と心とふれ合つて、裸な心でつき合つて、心の奥から、がっちり手を組んでいくとき、明朗な幸福な社会生活は自らにじみ出るのである。アリストテレスは「立法者は正義よりも友愛を重んずる」と述べてゐる。我々は友愛が、倫理的であり、社会形成的であることを自覺し、民主的

な正しい協力の仕方を實行せねばならぬ。兒童憲章に「兒童は人として尊ばれる」とあり、憲法には「すべて國民は個人として尊重される」とある。子供と婦人に、可憐な社会の人達におくられた近代的な記念品である。お互が人間であるといふ精神にみちた社会には平和が存するだけである。この大理想の実現にはまだまだ苦難の過程を通過しねばならぬ。講和発効と共に、特殊世相が展開されている。曰くよりどころがはつきりせぬ。早くよりどころを示せと急ぐもの、併し民主社会のよりどころは、あたりが弱く、無自覺の者には見えぬ。このかすかな光明をお互が心を磨きながら保つていかなければならぬのではないでしようか。

町議会だより

六月四日 議員協議會 出席二十五名 診療所設置認可申請に對する経過報告及措置について検討した。 六月十四日 財務委員會 六月十八日

六月十九日 財務、産業合同委員會 卷信用組合の事務所として公民館の一部を貸与及これに伴う修繕費について検討承認した 六月二十日 六月定例会 出席二十六名 1 卷町公民館設置條例 中改正條例の設定について審議、原案の通り議決した。 2 卷町各種手数料徴收 條例中改正條例の設定について審議、原案の通り議決した。 3 公営住宅建設費起債 について審議原案の通り議決した。 4 卷町公民館の一部使用許可について審議、許可を与える事を議決した。 5 卷町國民健康保險稅 賦課徴收條例中改正條例の審議について原案の通り議決した。 6 昭和二十七年年度歳入 歳出第一回追加予算 専決処分報告について審議報告通り承認を与えた。 7 昭和二十七年年度歳入 歳出第二回追加予算 について審議原案の通り議決した。 8 議會常任委員會委員 及委員長の改選を行つた。

消防水道委員會 常備消防に關する左記 諸件について検討承認 した 1 常備團員の盛夏服支給 について 2 常備團員の長期講習 に伴う臨時雇員を正 職員に採用について

波乱を 予想され た農協の 總會もな かげ野次 氣分が出 席した一 部の組合 員を、あつけないものにして終了した。總會の山と目された某氏の言は意外にも農協は農民にとつて重要な唯一の組織である、これが破壊的の言動はさけるべきである。『明ら組合、健全なる組合として盛り立ててゆくには農協職員が一丸となり己の職務に精出すことであり、又常に農家の肥料の積下しも手傳出来るような服装と心がけで出勤しても『農協協同組合長の言葉である。』思ひ出したが過ぎる年、労働省の或る女事務官が来た際に『労働基準法と俸給云々』との聴衆者の質問に對し、一通りの応答の後『貴方は職場に於ける勤務は忠実につとめて居られますか、お互に義務を果して權利を主張することにしましよ。』世の中にはネクタイでも下げ少しも肩書をつけてもらうものなら、もう自分が神様にもなつた氣で思いつてゐるものが多いこの頃、前者の言葉は充分に味うてみるべきだと思ふ。

はがき回答

是か政治的スト

沢栗 隆 七区
一、是(合法的スト)
二、理由
三、理由
藤田 三十一 九區
この問題は小生として



お祭り

竹部 木魚

主権在民の現在では
自己の一票の正しき
行使によつて政治は



今日お祭り

「祭」の雰囲気を感じ
達の上に再現したいと
いう華やかな期待やお

命が引摺られて行く時
「祭」に打つて替
つて砲弾の花火がふつ



時間厳守で明るい集會
大分よくなつた六月の集會

一、成人講座 六月五日
二、工場見学 六月廿二日
三、女性をつとめ 六月廿五日

公民館

町のお嬢さん方の生
花展が本間、石川先生
の御協力により十五日

先月最後の催、結婚
式の改善についての討
論会が講師に長沼ハル

郡関係事業
郡青少年指導者講習
会二十四日より二十七

口道義の易揚と純潔教
育の助長。
ハ経済生活の工夫と貯

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

団体からの

町のお嬢さん方の生
花展が本間、石川先生
の御協力により十五日

先月最後の催、結婚
式の改善についての討
論会が講師に長沼ハル

郡関係事業
郡青少年指導者講習
会二十四日より二十七

口道義の易揚と純潔教
育の助長。
ハ経済生活の工夫と貯

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

おたより

先月最後の催、結婚
式の改善についての討
論会が講師に長沼ハル

郡関係事業
郡青少年指導者講習
会二十四日より二十七

口道義の易揚と純潔教
育の助長。
ハ経済生活の工夫と貯

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

お祭り

先月最後の催、結婚
式の改善についての討
論会が講師に長沼ハル

郡関係事業
郡青少年指導者講習
会二十四日より二十七

口道義の易揚と純潔教
育の助長。
ハ経済生活の工夫と貯

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

お祭り

先月最後の催、結婚
式の改善についての討
論会が講師に長沼ハル

郡関係事業
郡青少年指導者講習
会二十四日より二十七

口道義の易揚と純潔教
育の助長。
ハ経済生活の工夫と貯

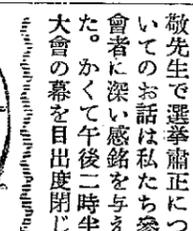
翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を

翠三十日観光バス
にて佐渡の名所を見物
風光明媚な島の風景を



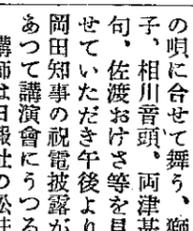
思うままに

子供に接する時の意識
の度合が少しづつ違つ
て来ている。年のせい



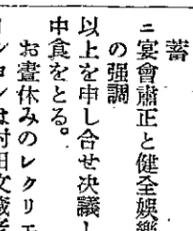
思うままに

子供に接する時の意識
の度合が少しづつ違つ
て来ている。年のせい



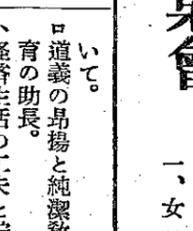
思うままに

子供に接する時の意識
の度合が少しづつ違つ
て来ている。年のせい



思うままに

子供に接する時の意識
の度合が少しづつ違つ
て来ている。年のせい



思うままに

子供に接する時の意識
の度合が少しづつ違つ
て来ている。年のせい

学校図書館教育の重要性

(先号より続く)

②学校図書館は多くの方面で子供達の興味を刺激し、豊かな情操と自主的な態度を作り上げる。

『図書館には彼等の興味をそそるようなものがたくさんある。書架にはとびつきたい様な繪本、むさぼり読みたいような童話などが陳列されている。新しい新聞も雑誌もある。』とすれば子供達は遊びも忘れて図書館へ駆けてくるだろう。そして未知の世界の秘密をときあかした科学書に、世界的名作物語に、学習の疑問解決にそれぞれ没頭するだろう。子供達に『自主的』なものを要求するならば、まずもつて内容を与えなければならぬ。如何に『自主的』といつても子供達に活動する材料がなかつたら果して自主的になり得るだろうか、このような活動を通して子供自らの手に豊かな情操がきざぎざ上げられてくるので

③学校図書館の利用は子供達によりよき社会態度と良識を身につけさせることが出来る。

④学校図書館の利用により学力の補充や教養の向上、子供達に読書する楽しさなどを与える事が出来る。

⑤学校図書館の利用により人間関係や他人の社会的、文化的生活を観察させ、さらに批判的な判断力や理解の態度も養うことができる。

学校図書館の教育的価値は益々高いものとなつてきている。しかるに図書館もなく、又図書数からしても文部省で示した最低一人三冊当りの基準にはまだ到底及びもつかない我が

校の現状は非常に憂慮すべきものである。――

――が只一つ、我々に光明を与えてくれるものがある、それは最近図書館建設の動きがみられることである。

学校、町民、父兄が一体となつての大きな力によつて一日も早くこの光明実現の機が到来することを願つてやまない。

(巻小学校小林佐吉)

雑感

中浦會野木村 須田英雄

巻を去つてから三年過ぎた、早くもあり遅くもありとは、換え難い実感が、この実感の種々様々又種々、ニューアンスに富んで

今日も館報を届けていただいた。毎月の事であるしかも、もらつた当人は礼状一本差上げるでもない。エチケツトに程遠い失禮を繰

返してないながらである。僕だつたら二三回送つてみて『有難う』とも『受取つた』とも返事しなければ、断然以後発送を停止するね。こ

うした事実は巻町の一面だと思ふ。こうした町性を僕はい、意味での保守性だと思ふ。世にいう進歩性が保守性の手を引いて前進しなかつたところに日本のコ

吾々のところは、公民館ができた、それ何をつくらんくちや、これをつくらんくちや、こんな付焼双の処方が成功するのをおかしいのかもしれない。あわ

せて『人』の適した、人材というかこれが、なかなかである。第一演劇だ活花だ、読書だ映画だ、という事に公

民館活動というのが眼を奪われて大切な、しかも農村が今、休たたりしている『問題解決』

『障害除去』の公民館でなかつたという事が一番の難点だつたかも知れない、こうした事は本年度、深い反省がなされていく。でも、遅いという感はある、村民は公民館というものは、多分に悲觀的であるからだ。でも結果しているものを考え

てみるとかならずしも公民館活動何年かの足跡は、無意味ではなかつたのだから。何かの面でプラスしていると考えている、民衆といふものは現在とか現実とかにはこれがどんな施策でもよろしいに微笑をみせないベシニストだからである。

巻海紅句会

金子 曙山

須貝 秀

竹部 杜松

村井 孝平

細山 金剛

まだ人の厚着を常盤木のした羽虫あやをり暑さ寒さも彼岸の一と鉢の姫りんごが芽ぶく春の耐釣りに来て白い手袋の入場所がさだまらぬ

孤立した気持ライスカレーの辛味がきいて夏近し海苔賣たてかけて無人この家

春愁とは新聞を裏返し読むときのひびきに石のかたに降る春雪は女體の秘密かな

三月木の芽ぶくことも差押へに来る事もわかりきつて

店頭春物が並び早春店員と火鉢春日地滑かなり一つ丸い籠新調

コム長をはきづかづかと踏む土冬草

返してないながらである。僕だつたら二三回送つてみて『有難う』とも『受取つた』とも返事しなければ、断然以後発送を停止するね。こ

うした事実は巻町の一面だと思ふ。こうした町性を僕はい、意味での保守性だと思ふ。世にいう進歩性が保守性の手を引いて前進しなかつたところに日本のコ

吾々のところは、公民館ができた、それ何をつくらんくちや、これをつくらんくちや、こんな付焼双の処方が成功するのをおかしいのかもしれない。あわ

せて『人』の適した、人材というかこれが、なかなかである。第一演劇だ活花だ、読書だ映画だ、という事に公

民館活動というのが眼を奪われて大切な、しかも農村が今、休たたりしている『問題解決』

『障害除去』の公民館でなかつたという事が一番の難点だつたかも知れない、こうした事は本年度、深い反省がなされていく。でも、遅いという感はある、村民は公民館というものは、多分に悲觀的であるからだ。でも結果しているものを考え

てみるとかならずしも公民館活動何年かの足跡は、無意味ではなかつたのだから。何かの面でプラスしていると考えている、民衆といふものは現在とか現実とかにはこれがどんな施策でもよろしいに微笑をみせないベシニストだからである。

【抜書・聞書・覺書】

根に置かれ……明治二年の廢藩置縣により、水原原根民政政局を設けられたが、翌三年より新潟県原根民政政局となり、明治五年に會根局は巻に移轉され民政政局の管轄となつた。(『護光』三卷五号)

……殊に(父渡辺定松は)村の十總代の一

人として時あたかも辰巳の役後會根村の養展の爲め、十總代と共に村に民政署設置を其の筋へ運動をし其功奏し民政署設置費として村債三千兩を割元中野福七の親類なる七日町山

田權左エ門より年賦にて、十總代名儀に借金なしたるに返済意の如くならず、遂に十總代は弁償の爲の難澁に陥り、其の爲の田畑家屋を賣り払い弁済せり。(『函館渡邊貞作記』)

【家庭重宝メモ】

櫛の掃除法

櫛の齒にたまつた垢は、なかなか取りにくく、やつかいなものですが、齒ブラシに石鹼をつけて櫛の目なりに、歯のすみすみまでわけなくきれいに掃除出来る。

白草靴の手入れ

普通の靴の手入れをおこたらないと同時に白靴には足跡の黒くついたものは見よくありませんから石鹼液を布にビショビショにしまして底をふきとすぐまた乾いた布でふいておきます。ひどいよければ揮發油かベンジンで拭きますがこれは革をいためますからあまり度々しない下さい。

砂糖について

砂糖が自由に買える様になりましたが精製されぬ黒砂糖は、むしろ白いのよりピタミソニをふくんでいますから濃厚な味や色が我まん出来たら白いものと使われて利用しまし

上げられてくるので

値は益々高いものとなつてきている。しかるに図書館もなく、又図書数からしても文部省で示した最低一人三冊当りの基準にはまだ到底及びもつかない我が

校の現状は非常に憂慮すべきものである。――

――が只一つ、我々に光明を与えてくれるものがある、それは最近図書館建設の動きがみられることである。

学校、町民、父兄が一体となつての大きな力によつて一日も早くこの光明実現の機が到来することを願つてやまない。

(巻小学校小林佐吉)